9月1日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929 ●TEL04(7092)2211代 ●発行責任者 亀田隆明 ●作成 広報企画室 ●毎月1日・15日発行

急医療週間特集

2021年度救命救急センター診療実績 受診者 21.236人(救急車 3.939件、ヘリ搬送 78件)

「救急の日」の9月9日を含む、9月4日~10日は「救 急医療週間」です。そこで、今号では2021年度(2021 年4月1日~2022年3月31日) の当院救命救急セン ター(以下、救急センター)の診療実績をご報告いた します。

* * * * * * *



 \bigcirc

救命救急センター長 不動寺 純明

新型コロナウイルス感染症(以下、 新型コロナ) 第7波の爆発的な感染に より、8月の時点では職員の新型コロ ナ感染および濃厚接触により入院ベッ ドの制限をせざるを得ない状況となり ました。その中で救急センターは南房 総の最後の砦としての役割を果たすた め、以下の方針で診療を行っています。

- ◆ 救急センターでは新型コロナ感染の診断 (PCR検査など)は行わない
- 2 発熱のみ、新型コロナの疑いがある患者さま は救急センターではなく発熱外来を受診して いただく
- 3 職員、患者さま同士の感染を避けるため発熱 や上気道症状がある方は車または離れた場所 で待機してもらう

さらに、こうした対策を行いながら緊急を要する患 者さまを優先に診療を行います。

新型コロナに感染した疑いがあれば心配で救急セン ターを受診されると思います。しかし、すべての発熱 患者さまを救急センターで受入れた場合、発熱以外の 脳梗塞、心筋梗塞、外傷など急を要する患者さまの診 療が遅れることになります。それを避けるためにトリ アージとして急を要する状態かを看護師が判断し、緊 急度に応じて診療の順番を決めています。また感染対 策のため、感染防護服を着用しますので、準備に時間 がかかり、お待ちいただく時間が長くなることをご理 解いただきたいと思います。

前述の方針で対応にあたった、昨年度の救急セン ターの実績を報告します。救急受診患者数21,236人 (2020年度は20.202人)、救急車搬送3.939台(3.644 台)、ドクターヘリおよびその他のヘリ搬送78件(71 件)でした。ベッド満床などの理由でお受けできなかっ た救急車が220件(219件)、不応需率(受入れ不能率) が5.3% (5.7%) でした。

新型コロナがおさまるまで、しばらくはこのような 対応が続くことになります。みなさまにご迷惑をおか けいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



「おくすりの窓口」の 並び方が変わりました

亀田クリニックの薬局では、以下の方向けの窓口を開 設しました。

- ・歯科センター引換券をお持ちの方
- ・後日受け取り申請の方
- ・処方変更後の受け取りの方
- ・並ぶことが困難な方
- ・車イスをご利用の方

これに伴い、おくすりを効率よく受け取っていただく ため、一般窓口もジグザグ並びに変更いたしました。座 席の数を減らしておりますので、薬局以外での待機にご 協力をお願いいたします。

なお、院内各所に用意ができたお薬の引換番号や 平均待ち時間を確認できる端末が設置されているほか、

右記QRコード またはアドレス(http:// www.kameda.com/pr/medicine/) \tag{2} アクセスしていただければ、スマホからも 確認できますので、ぜひご利用ください。



beyim [MEDICAL UPDAT

FM ラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組 『it‼(イット)』では、毎週火曜日の午後 3 時から、 当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」 のコーナーが好評放送中です。9月は脳神経外科部長 代理の渡邉信之医師が、引き続き「脳にかかわる病気」 をテーマにお話しいたします。



第8話 漢方と治癒効果

ところで漢方はどのようにして治療効果を上げるのでしょ うか? 漢方医学の成立はある状態の病人がどのような組 み合わせの生薬を飲むと良くなるのか? どう変わるのか? を経験知として積み重ねてきたものと思われますが、次第 に古代中国の自然観の影響を受け、人間の仕組みについ ての[仮想モデル]的な概念が確立されていきます。

現在の科学からみるとおかしな点もたくさんあるのです が、そこは太古の仮想概念ですので…。 例えば五臓六腑 という名称は、今現在使われている内臓の名前とほとんど 同じですが、漢方的には内臓そのものではなく、ある生体 機能をつかさどる機能単位を示す仮想的な概念です。

例えば漢方の「腎」とは、水の代謝とともに生まれ持った エネルギーを供給するなどの役割をもち、加齢に伴う老化 現象は主に腎の機能が衰える事(腎虚)に起因すると考え ます。これは現在の生理学的には、腎臓のみならず、性腺 や副腎などの内分泌機能に更に自律神経系も含んだ概念 と理解されます。

また「気・血・水」という3つの仮想的な要素が体内をく まなく巡ることで健康が維持されていて、これが阻害され ると病気になると考えます。

第4話でも触れましたが、最近になって話題にのぼる「気 象病」は漢方的には気血水のうち、水の異常がある水滞(水 毒)の症状そのものですし、冷え性や生理痛などの中には

「血 |の異常によるものがかなりありま す。これらはいずれも現代医学では 病気のメカニズムが詳しく解明され ていないため、治療法も十分には存 在せず対処が難しいのですが、漢方 には大変良く効く薬があります。



「木を見て森を見ない」という言葉があります。 物事を細 分化していってそのメカニズムに迫るミクロの視点は、さま ざまな未知の事柄を解明してくれる反面、ともすると全体 像を見失いがちです。

漢方は、逆に空の上から森全体を見るように、生体全体 を総体的に捉えるマクロの視点を用います。そうして俯瞰し て数十兆個!!という天文学的な数の細胞からなりたつ「ヒ りという超複雑系システム全体の、どこに歪みが生じてい るかを捉え、それをどのような漢方薬を用いれば修正でき るかの技術と知識を蓄積してきました。

結果として患者さまの心身の状態を一番いい状態に整 える(コンディショニングする)ことでできるようになり、そう して患者さまの持っている「治るチカラ」を最大限引き出し て、患者さま自身が病気に打ち勝てるようにする、それが 漢方の本質的な治療戦略です。

病気の本態もわからなかった太古の昔ですから、それし か方法がなかったのですね。目に見えない病原菌などでは なく、目に見える病人の状態に注目し、それを変えていく 方法を磨き抜いてきました。

もちろん多くの病気に打ち勝つのにそれではまったく不 十分であったことは、現代医学が進歩するとともに飛躍的 に平均寿命が伸びてきたことを見れば明らかです。ミクロの 視点から病気のメカニズムを解き明かし、強力にその病気 の原因を討伐する現代医学のチカラは素晴らしいものです!

ただ、現代医学がその効果を十分に発揮するためには 患者さまに強力な[治るチカラ]があることが必要なことは

忘れてはいけません。 他方、漢方はマクロの 視点から患者さまの治 るチカラを最大限引き 出す…。そう、現代医 学と漢方とはまさに「車 の両輪」と言えましょう。



明治の時代に一度は捨てられた医学体系が今なぜまた 復興してきたのか? 僕は現代医学がミクロの視点を極めつ つある今だからこそ逆に、欠けているマクロの視点として 漢方が必要とされるようになったと思っています。当時捨て られたのも今復興しているのも、時代の必然なのです。

医療エッセイのバックナンバーは下記よりご覧いただけます

http://www.kameda.com/ja/general/about/magazine/index.html



医師紹介

みやざき あきなり

①担当科目 ②診療における得意分野



- ①消化器外科 部長 ②肝胆膵外科、大腸外科
- ④丁寧な診療を心がけます

